安 管 み や ぎ

第８号

令和８年

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転管理者事業主会連合会

夏 は 正 面 衝 突 に 注 意

夏の交通事故防止運動が７月２１日から８月２０日まで実施されます。

夏は、行楽や帰省などで長時間・長距離の運転になりがちで、さらには酷暑による疲労も重なり、ぼんやり運転や居眠り運転などが懸念されます。

このような身体の状態では、カーブに気づくのが遅れて対向車線にはみ出たり、ふらつき運転で対向車線にはみ出したり、と正面衝突による重大事故が発生するおそれが高まってしまいます。

自分がスピードを出していなくても、相手のスピードも加わって衝撃が極めて大きくなり、重大な結果が生じてしまうのが正面衝突の事故です。

自らが運転する時は、自分の健康状態に気を付けて、長距離運転する前には夜更かししない、スマホを使いすぎない(目が疲れます)、疲れを自覚したら無理せず休憩を取るなどして、集中力を途切れさせない工夫をしましょう。

また、この資料作成者自身は、正面衝突されない方策として、

対向車の運転手の顔を見て、視線の方向が正しいか

対向車が、カーブを曲がるスピードに減速する気配があるか

対向車がはみ出してきたとき、退避できるスペースはあるか

なども注意深く観察して運転しております。

夏の交通事故防止運動の運動重点

① 適度な緊張感を保持したゆとりのある運転の徹底
② 全ての座席のシートベルト等の正しい着用の徹底
③ 飲酒運転の根絶
④ 二輪車運転時のヘルメットの適正な着用とプロテクター等の着用促進